

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

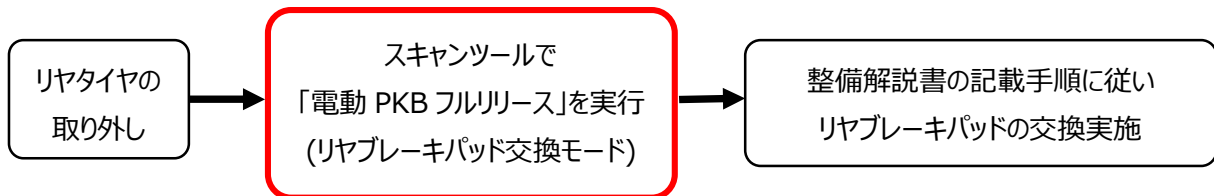
作業サポート「電動 PKB フルリリース」によるトヨタ車のリヤブレーキパッド交換

注意事項 / 必ずお読みください

- 本書は日立ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1. 電動パーキングブレーキが装着されたトヨタ車のリヤブレーキパッド交換手順概略

- リヤブレーキパッドの交換にあたっては事前にスキャンツールで作業サポート機能「電動 PKB フルリリース」を実行し、車両を「リヤブレーキパッド交換モード」に移行させます。(車両によっては「チェックモード移行」を実行)
- 「電動 PKB フルリリース」を使用したリヤブレーキパッドの取り外し手順は以下となります。



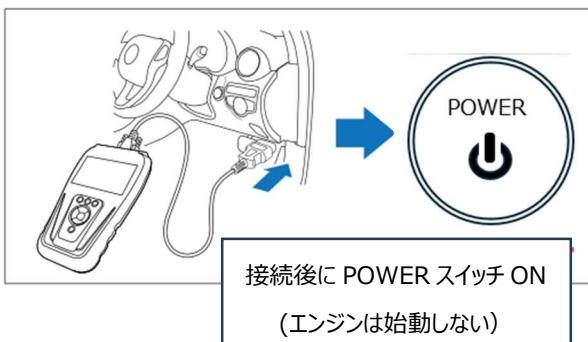
2. HDM-10000 用トヨタ診断ソフトの「電動 PKB フルリリース」によるリヤブレーキパッド取り外し手順

【手順 001: リヤタイヤの取り外し】

整備解説書に記載の手順に従いリヤタイヤを取り外してください。

【手順 002: HDM-10000 の車両への接続】

- ① HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ② 車両側 POWER スイッチを ON にし、HDM-10000 メニュー内の特殊機能を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 003:メンテナンスモードの起動から ABS サポートの表示まで】

①特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されます。



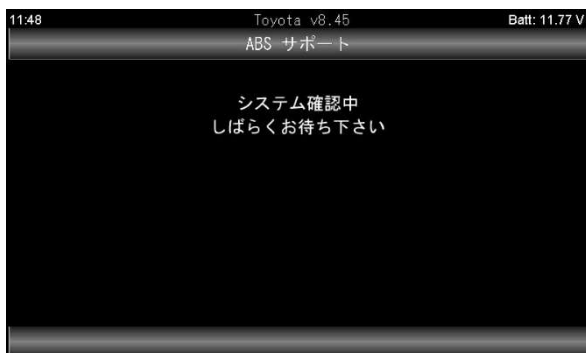
②「トヨタ/レクサス」を選択し、画面の右側の一覧で「ブレーキ関連交換」を選択して ENTER キーを押してください。



③車両選択の画面が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。そのあとに表示される「ブランド」「車名」「車型」「エンジン型式」「オプション」の各画面で該当する項目を選択して ENTER キーを押します。



④「システム確認中しばらくお待ちください」が表示されたあと「ABS サポート」が表示されます。



(次ページに続く)

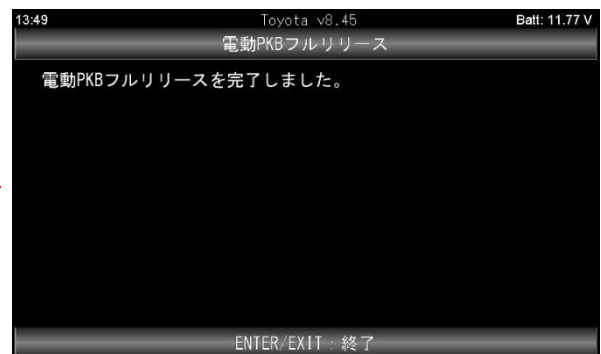
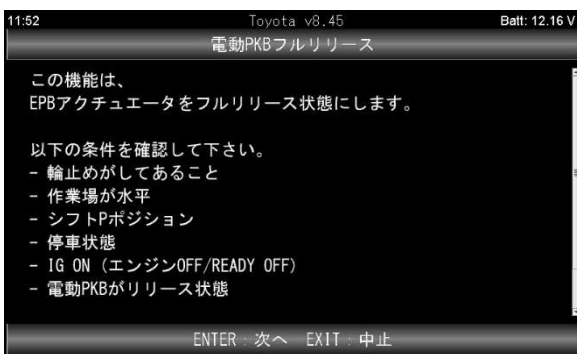
【手順 003:電動 PKB フルリリースの実行(車両のリヤブレーキパッド交換モードへの移行)】

①ABS サポートで「電動 PKB フルリリース」を選択して ENTER キーを押してください。



②「電動 PKB フルリリース」が実行できる条件と車両の状態が合っているか確認して ENTER キーを押してください。

「しばらくお待ちください」が表示されたあと「電動 PKB フルリリースを完了しました」が表示されます。



③パーキングブレーキランプが遅い点滅(1秒間隔)に切り替わり、車両が「リヤブレーキパッド交換モード」に移行します。

ENTER キーを押して、パワースイッチを OFF にしたあと、HDM-10000 を車両から取り外してください。

【手順 005:整備解説書の記載手順によるリヤブレーキパッドの交換】

- 整備解説書の記載手順に従い、リヤブレーキパッドの交換を行ってください。
- 整備が完了したあと「リヤブレーキパッド交換モード」を解除する場合は車室内の電気リックパーキングブレーキスイッチを5秒以上ロック側に引き上げてください。
- 「リヤブレーキパッド交換モード」を実行すると故障コード C060E2A、C06132A または C13B800 を検出する場合があります。検出された場合は作業(リヤブレーキパッド交換など)終了後に HDM-10000 で故障コードを消去してください。

(2024.11 発行)